

東急病院だより

なつ号
2021

大岡山の駅の上・笑顔あふれる東急病院・お役に立つ情報を発信する季刊誌

ワクチンとは

ヒトに細菌やウイルスなどの病原体が入ってきた際に、事前に免疫をつけておく(戦える)ことで感染や病気の発症、重症化を予防する薬です。ワクチンの種類には、生ワクチン、不活化ワクチン、組換えタンパクワクチン、ベクターワクチン、DNAワクチン、mRNAワクチンの6種類があり、このうち新型コロナウイルスワクチンに使われている2種類(現在、国内で承認されているもの)について説明します。



新型コロナウイルスワクチンのしくみ

新型コロナウイルスワクチンが作用するしくみ

mRNAワクチン

ファイザー社/ビオンテック社製、
モデルナ社製

新型コロナウイルスの表面にある王冠のような突起物(スパイク蛋白)を作るmRNA*を取り出し、保護脂質の殻に入れたもの。

※mRNA

メッセンジャーRNAの略で、蛋白を作るための設計図。ウイルスだけでなく、ヒトの細胞内でも常にmRNAが作られています。

ベクターワクチン

アストラゼネカ社製

ワクチンに必要な遺伝情報などをヒトの細胞に運ぶための運搬役として使われる、ヒトに対して病原性のないウイルス(ベクター)に、新型コロナウイルスの構造物の一部(スパイク蛋白)を作る遺伝子(設計図)を組み込んだもの。

スパイク蛋白は“ウイルスの弱点”というイメージで、ワクチンはこれを標的にします。

新型コロナウイルスワクチンをヒトに投与すると、スパイク蛋白が作られるようになり、これを異物と認識して抗体が作られるようになります。抗体を作ることを覚えるので、本当の新型コロナウイルスがヒトに入ってくると、ウイルス侵入を認識し抗体を作って、戦うことができるようになります。

私たちは、ワクチンという新たな武器を手に入れますが、この場を借りて、改めて皆さまに基本の徹底をお願いします。

ワクチン
だけに
頼らない
基本の徹底

1. 手指衛生の徹底
2. 会食の自粛
3. マスクを外して会話をしない
4. 不要不急の外出・移動の自粛



「新型コロナワクチン Q&A 特設サイト」

ワクチン接種は推奨されているものの、義務ではありません。正確な情報をもとに、接種するかを決めましょう。厚生労働省ホームページに掲載の「新型コロナワクチンQ&A特設サイト」で、よくある質問が確認できます。

診療副部長 医療連携部長

橋本直方

〔専門領域〕

■呼吸器内科

〔資格〕

■日本呼吸器学会呼吸器専門医、指導医 ■日本アレルギー学会専門医、指導医 ■インフェクションコントロールドクター(ICD) ■日本化学療法学会抗
菌化学療法認定医 ■昭和大学
医学部内科学講座呼吸器・ア
レルギー内科学部門兼任講師

健康情報
Vol. 01



■「東急病院ニュース」をリニューアルしました。

今号より「東急病院ニュース」をリニューアルし、名称も「東急病院だより」に変更いたしました。より読みやすく、皆さまのお役に立つ情報を発信していきたいと思っております。年4回発行の季刊誌となりますので、次回は10月に発行予定です。よろしくお願いいたします。

※外来担当医師一覧表につきましてはホームページでのご案内のみとさせていただきます、紙面での配布は中止とさせていただきます。

■ 新任医師紹介(2021年4月1日着任)



ありひろ せいじ
有廣 誠二

【診療科】

内科

【役職】

医長

【専門領域】

消化器疾患、炎症性腸疾患

【経歴】

1993年 東京慈恵会医科大学卒業、東京慈恵会医科大学博士課程

2005年 東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科 診療医員

Massachusetts General Hospital, Boston, U.S.A. research fellowとして留学

2019年 東京慈恵会医科大学附属病院 消化器・肝臓内科 准教授

【資格】

日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器病学会関東支部評議員
日本消化管学会胃腸科専門医 日本神経消化器病学会評議員

【診療方針】

消化器・肝臓内科では、消化器疾患全般にわたって最新の情報を把握し、患者さまに専門的な医療を提供できるように心掛けております。また、患者さまおよびご家族にご納得・ご安心いただける医療を目指しております。

【趣味・特技】

水泳

【炎症性腸疾患について】

潰瘍性大腸炎とクローン病に代表される炎症性腸疾患は、遺伝や環境因子、免疫異常、腸内細菌の異常などのさまざまな要因が関与し発症するとされています。しかし、未だ原因は不明です。そのため医療費の一部を国が補助する特定疾患(指定難病)に指定されています。本邦において患者数は急激に増えており、潰瘍性大腸炎は20万人、クローン病は7万人を超えています。若い世代に多く、症状は下痢、血便、腹痛、体重減少、発熱などです。発症すると長期間の治療が必要で、病状が悪い時期(再燃期)と落ち着いている時期(寛解期)を繰り返すのが特徴です。治療は、5-ASA製剤、ステロイド剤が中心でしたが、近年、免疫調節剤、生物学的製剤等の有効な治療薬の登場により、患者さんの症状をコントロールできるようになってきました。そのため早期診断、治療が患者さんにとって有益となります。また、治療の継続と定期的な通院や検査が必要な疾患です。当院では、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーと連携し、患者さんに安心して治療を受けられるような診療を心掛けております。

■ ホームページをリニューアルしました。

東急病院ホームページを全面リニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、パソコンの他にスマートフォンやタブレットからも快適にご利用いただけるようになりました。これまで以上に使いやすいサイトを目指し、内容の充実を図ってまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



<https://www.tokyu-hospital.jp/>

■ 救急業務功労者表彰を受賞



徳留病院長より
お祝いと労いの言葉を
いただきました。

大田区救急業務連絡協議会より令和2年度救急医療業務功労者として当院の延山理恵看護師長が表彰されました。これからも当院では地域の皆さまの安心・安全に貢献できるよう努めてまいります。

お願い ■ 当院で手術・内視鏡検査を受ける方へ

当院では、新型コロナウイルスのワクチン接種と、手術または内視鏡検査は前後2週間以上あけるよう日程調整をお願いしております。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



MRI・CT 検査機器 をリニューアルしました。

新たに導入したMRI・CT検査機器について特徴をご紹介します。どちらも患者さまの負担を減らしつつ、画質向上と高精細な画像提供が可能となり、質の高い検査結果をご提供いたします。

シーメンス社製3.0 テスラMRI



MRI

- 従来の1.5テスラ装置と比較して撮影時間が短縮されました。
- トンネルの幅が従来の60cmから70cmとなり、検査空間が広がりました。
- 頭部以外の撮影では、トンネル内で鑑賞できるリラクゼーション用モニターの装備を予定しており、より患者さまにやさしい装置となります。

シーメンス社製64列128 スライスCT



CT

- 従来の機器より被ばく線量が低下し撮影時間も短縮されました。
- ガントリ開口径や最大撮影範囲が広がり、ルーチン検査から心臓、全身外傷まで、さまざまな検査に対応可能となりました。
- Dual Energy イメージングなど、先進イメージングにも適応可能となりました。

医療機関の方へ

MRI・CT 検査のご予約を承っております。

結果は読影レポートを添え、検査当日渡し、または翌日午前着にてお届け可能です。裏面窓口一覧記載の電話番号にてご予約ください。



栄養管理 ニュース

食物アレルギーとは



特定の食べ物に含まれる「アレルゲン」に免疫機能が過剰に反応してしまい、身体にさまざまな症状を起こします。食物アレルゲンは口から摂るだけでなく、吸入や皮膚接触、注射などの経路から入ることがあります。

アレルギー食材の表示義務

箱やポリ袋など容器包装された加工食品にはアレルギー物質が一定量以上、常に原材料に含まれている場合、食品表示法にのっとり表示をすることが定められています。

※店頭での対面販売品や外食料理には表示義務無し

特定原材料(表示義務)

卵・乳・小麦・落花生
えび・そば・かに

特定原材料に準ずるもの(表示奨励)

アーモンド・いくら・キウイフルーツ
くるみ・大豆・バナナ・やまいも
カシューナッツ・もも・ごま・さば・さけ
いか・鶏肉・牛肉・豚肉・りんご
まつたけ・あわび・オレンジ・ゼラチン

おとなの食物アレルギー

こんな人
こんな時は
要注意!!

- 花粉症の人
- 親がアレルギー体質の人
- アトピー性皮膚炎の人
- ストレスが多い時
- 疲れている時など体調がすぐれない時

食物アレルギーは体調の悪さが引き金になることも。
疲れている時は原因になりやすい食材は避けましょう。
詳細は病院管理栄養士にお尋ねください。

東急病院の取り組み



ワクチン接種の取り組みをご紹介します。

新型コロナウイルスのワクチン接種について、医療従事者への接種を行いました。また、6月17日からは、65歳以上の高齢者への接種も実施しています。

医療従事者への接種

東京都の要請により、地域で働く医療従事者に対し、約2週間にわたり、新型コロナウイルスのワクチン接種を行いました。東京都予約システムでご予約いただいた訪問看護師さんや薬局の薬剤師さんなど、1日120人もの方が来院されましたが、大きな混乱を来すことなく全日程を終了することができました。

高齢者への接種

6月17日から週3日(月・火・木)、高齢者(65歳以上の方)への接種を実施しておりますが、病院所在地が大田区にある関係で、原則、大田区在住高齢者が接種対象となります。またご予約に関しましては、大田区が運営する「インターネット予約」、または「電話予約(接種コールセンター)」のみによる受付となり、当院での直接予約は承れませんので、どうぞご承知おきください。



窓口一覧

患者さまからのご予約・お問い合わせ

外来
ご予約

03-3718-3331 (代表)

月～金 13:00～17:00

※自動音声案内にて1番を入力してください。

人間ドック
ご予約

045-274-1009

月～金 12:30～16:00

健康診断
ご予約

045-902-8957

月～金 10:00～16:00

医療福祉
相談

03-3718-3336

月～金 9:00～17:00

医療・介護関係の方からのご予約・お問い合わせ

外来

救急

同日上午 または 同日下午内視鏡検査

TEL: 03-3717-7867

医療連携部門事務担当
月～金 8:45～17:00

CT

MRI

骨密度検査

TEL: 03-3718-3573

FAX: 03-6673-2594

放射線科
月～金 8:30～17:00

超音波など

TEL: 03-3718-3504

生理検査室
月～金 8:30～17:00

入院中の患者さまに関するお問い合わせ

TEL: 03-3718-3336

医療連携部門MSW・看護師
月～金 9:00～17:00

発行日: 2021年7月1日

発行者: 東急株式会社 東急病院 医療連携部門

〒145-0062 東京都大田区北千束3-27-2 TEL: 03-3718-3331(代表) FAX: 03-3717-4138